

NPO法人

いしかわ多胎ネット ニュース・レター

2020.秋号
No.21

ごあいさつ

新型コロナウイルスという予想しなかった環境下での自粛生活。多胎ファミリーの皆さんは、いろんな工夫をし日々を過ごしている事と思います。マスクを取って普通に会話し、気兼ねなく食事会ができるのはいつになるのでしょうか？従来通りの活動は難しいのですが、十分に対策を講じながら支援を続けていきたいと思っております。

ご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

イベント 紹介

「プレ多胎ファミリー教室」



R1.9.21(土) ー白山市 おやこの広場 あさがおー

年4回開催を目標に白山市と小松市で開催しているプレ教室。

土曜日に開催することでパパやお仕事をしているママの参加ができます。なかなか会えないふたで先輩パパからの率直な体験談が聞ける貴重な場になっています。今回育児休暇を取得した先輩パパが二人おり、少しずつではありますが制度が活用されていることの実感を得ました。託児を同じフロアで行うことでプレ家族が近い将来の自分たちを想像でき、賑やかでもあり微笑ましい会となっております。

(参加者:多胎家族7組 参加人数大人13名子供11名)



R2.3月にも予定されていましたが、中止になりました

「クリスマス会」



R1.12.8(日) ー金沢市 金沢市教育プラザ富樫ー

毎年北陸学院大学の学生さんが可愛い出し物を披露してくださる「クリスマス会」。小さい子供でも参加できる内容で、楽しい時間を過ごしました。

とてもたくさんの参加者があり、会場は熱気むんむんでした。個々のファミリーとゆっくり話はできませんでしたが、少し早いクリスマス気分を味わっていただきました。家族の記念写真をおみやげにお持ち帰りいただきました。

(参加者:多胎家族18組 参加人数大人35名、子供44名)



「子育て支援メッセいしかわ2019」



R1.10.20(日)

一金沢市 産業展示館 4号館一

「一般の方に多胎の妊娠・育児を知ってもらう」をテーマに毎年参加しているメッセ。今年も助成金にて作製した啓発用パネルを掲示し、オリジナルTシャツを着ての参加となりました。また6ヶ月の赤ちゃんが必要な粉ミルクとオムツ&オムツごみを展示。来場者には「ふたごクイズ」や「多胎妊婦体験」に挑戦してもらいました。

(参加者:多胎家族10組 多胎妊婦体験25名 双子抱っこ体験13名
ふたごクイズ30名 参加人数100名程度)

助成金活動報告

＜助成事業＞

公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団の「令和元年度子育て支援地域交流促進型協働事業」

＜目的＞

社会の変化とともに支援のニーズに変化が懸念される現状、現在の実態と支援のニーズを知り、これまでの支援活動の見直しや改善を目的に事業に取り組む。

＜期間＞

令和元年5月～令和2年2月末日

＜活動内容＞

「多胎妊婦とその家族のための多胎ファミリー教室」「ピアサポーター養成講座」「多胎家庭についての啓発活動」「保健師連絡会での活動報告」「アンケート調査」「ピアサポート活動」「多胎家庭支援研修会」

＜事業結果報告＞

- ・妊娠中から多胎育児に関する情報が求められており、入手できた家庭は出産後、困難さに応じたサービスを利用できている。
- ・SNSなどから簡単に入手できる社会となった現代においても人と人との直接的な交流によるリアルな情報は、多くの多胎家庭から求められており、役に立っている。
- ・孤立しがちな多胎家庭の現状を理解した人による人的サポートにより、養育者の心身両面の負担が軽減される。
- ・支援のためのサービスが用意されていても、さまざまな支援活動の違いや手続きの方法がわかりにくく、そのためにサービスが有効に利用されていないケースがある。
- ・多胎家庭支援において、ピアサポーターの存在と役割は大きい。
- ・多胎妊婦は、妊婦健康診査受診票の利用方法の制限により経済的負担が大きい。

＜今後の活動について＞

- ・妊娠中から全ての多胎妊婦に多胎育児に関する情報が届くよう関係各所と連携を行う。
- ・県内数か所での多胎ファミリー交流会の開催を検討する。
- ・支援者や専門職に多胎家庭の現状を伝え、支援について共に考える勉強会や研修会を開催する。
- ・多胎家庭が利用できるサービスについて一覧表にまとめるなど、わかりやすく利用しやすいシステムを構築する。
- ・ピアサポーターの数と質の担保：養成講座やフォローアップ研修の充実。

多胎家庭支援研修会 R2年2月20日

身体的、精神的負担が大きく孤立しやすい多胎育児家庭への支援については、必要性の理解や取り組みに地域格差が大きいことが知られています。石川県では各所で様々な支援が展開され全国的には先進的とみられていますがその支援内容について広く知られていないため、多胎育児家庭に満遍なく届いていない現状があります。医療、行政、民間団体などがつながり、それらの支援が妊娠初期から育児期を通して適時に全ての多胎家庭に届けられたなら、より育児しやすい石川県となるのではないかと考えられ、助成金事業の一環として研修会を開催しました。

全国の支援活動の紹介については、講師に天羽千恵子氏（一般社団法人日本多胎支援協会理事 ひょうご多胎ネット代表）を迎え、妊娠期からの切れ目のない多胎家庭支援活動について紹介していただきました。また、アンケート調査の結果を踏まえ、モデルケースを使ったグループワークを行い、専門職（助産師、保健師、看護師）や支援者、多胎育児経験者などそれぞれの立場でどのような支援ができるか話し合いました。

参加者： 44名 《保健師6名 助産師5名 看護師3名 子育て支援関係者11名
多胎育児経験者13名（内ピアサポーター8名） NHK記者1名 多胎ネットスタッフ5名》



ひろばやサークル

※新型コロナウイルス感染予防のため、活動内容に変更がされる場合があります。ご確認の上、お出掛けください。

ツインズデー

おやこの広場 あさがお（白山市）
毎月第1月曜日 9:30～16:00
昼食もたべられます（祭日の場合変更有り）
076-275-8677 <http://oyako-asagao.com/>

多胎児親子解放

子育てひろば さくらんぼ（白山市）
毎週金曜日 9:00～14:00
076-255-7607 <http://sakuranbo.sweet.coocan.jp/>

多胎児サークル ほっとらんど

毎月第3木曜日 10:00～14:00
活動場所：青竜幼稚園所有のログハウス「青竜ランド」
金沢市額新保1-198
<http://hottwins.seesaa.net/>

多胎サークル ピーナッツ・キッズ・クラブ

偶数月第3土曜日 & 第4木曜日の子育てはっぴ〜る〜む
活動場所：多世代交流拠点「しあわせのいえ」
小松市八幡106 0761-47-0309



http://peraichi.com/landing_pages/view/pikizzu

多胎サークル ルルロロ

毎月第4土曜日 10:00～
活動場所：かほく市 宇ノ気子育て援センター「おひさま」
かほく市宇野気二110-1（宇ノ気生涯学習センター内）
<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/content/kosodate/katudo.html>

いしかわ多胎ネットでは、新型コロナウイルス感染状況に応じて活動を行っております。

先輩ママ訪問・付添ピアなどご利用をご希望される方はホームページ又は事務局までお気軽にご連絡ください。

石川県のふたご・みつご以上の家庭を支援するグループ

いしかわ多胎ネット

<http://ishikawa-tatai.net/>
Email: i-tatai@apost.plala.or.jp

いしかわ多胎ネット

検索

お問い合わせ・連絡先

NPO法人いしかわ多胎ネット 事務局
〒921-8152 石川県金沢市高尾3-71-4
TEL/FAX: 076-287-0888

志村 恵（電話・FAX）
〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学人間社会学域
TEL: 076-264-5345 FAX: 076-264-5362
Email: mshimura@staff.kanazawa-u.ac.jp